



感染症週報

(東京都感染症発生動向調査事業)



2026年(令和8年) 第36週 (8/31 ~ 9/6) 定点把握対象疾患について

三宅島 新型コロナウイルス感染症 : 2件

御蔵島 水痘 : 1件

(三宅管内感染症発生動向調査より集計)



東京都の注目される定点把握対象疾患 [東京都感染症週報 第35週]

- ・インフルエンザの定点当たり報告数は、2.65で、前週(1.50)より増加しています。

島しょの情報(11島の医療機関からの報告) [第36週 (8/31 ~ 9/6)]

- ・インフルエンザの医療機関あたりの報告数は、1.91で前週(1.18)より増加しています。
- ・ほかに 感染性胃腸炎、手足口病、水痘、新型コロナウイルス感染症の報告があります。

NEWS 夏のインフルエンザが教えてくれること

インフルエンザは長らく「冬の感染症」と考えられてきました。しかし近年は、夏から秋にかけて流行することもしばしばあります。今年も、夏のうちに流行開始が宣言されました。

その背景には、人の往来の活発化や生活様式の変化に加え、新型コロナウイルス感染症流行後の社会行動の変化など、さまざまな要因が関係していると考えられています。近年は国内外を問わず人の移動が活発になり、観光や帰省、出張など人々が行き交う機会も増えています。ウイルスは自ら移動することができませんが、こうした人々の往来に伴って広がっていきます。

感染症の流行は、ウイルスの性質だけでなく、私たちの暮らしや社会の動きとも深く関係しています。言い換えれば、感染症は人の移動や社会の変化を映す鏡ともいえるでしょう。夏にインフルエンザが流行するという現象も、単に病気が増えているというだけではなく、人々の行動や社会のあり方の変化が反映されている可能性があります。

三宅島と東京を結ぶ定期船や航空便も、人や物を運ぶ大切な交通手段です。その一方で、感染症も人の移動とともに広がることがあります。夏のインフルエンザ流行も、私たちの暮らしや社会の変化を映した現象の一つなのかもしれません。

インフルエンザの感染経路は2つ

【飛沫感染】

せきやくしゃみのしぶきに含まれるウイルスを吸い込むことによる感染



【接触感染】

ウイルスが付着した手や物(ドアノブ、手すり、おもちゃなど)を触った後、手を洗わずに自分の目や口をさわることによる感染



参考引用:東京都内でインフルエンザが流行開始、インフルエンザ予防(東京都)

(編集・発行) 東京都島しょ保健所 三宅出張所

電話 04994-2-0181 FAX 04994-2-1009

<https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/tousyo/miyake/>



インフルエンザについて(東京都)

島しょ保健所三宅出張所管内 感染症発生動向調査

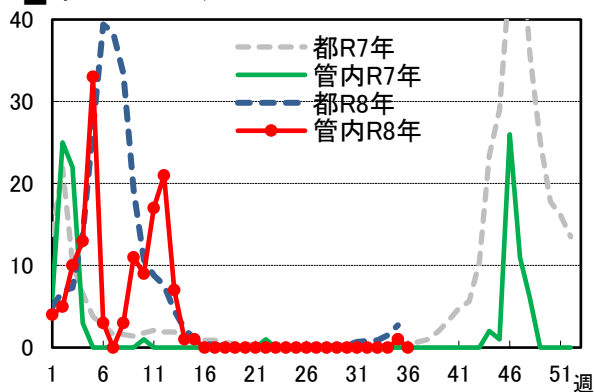
三宅出張所管内 定点把握対象疾患報告数

令和8(2026)年	第 36 週						令和8年 8/31 ~ 9/6	
疾病名 (小児科定点及びインフルエンザ /COVID-19定点)	令和8(2026)年						令和8 (2026)年 累計	東京都 定点あたり 35 週
	31 週	32 週	33 週	34 週	35 週	36週		
RSウイルス感染症							0 (0)	1.02
咽頭結膜熱							1 (0)	0.15
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎							2 (0)	0.76
感染性胃腸炎							12 (6)	3.77
水 痘						1 (1)	1 (1)	0.14
手 足 口 病							0 (0)	1.22
伝染性紅斑							0 (0)	0.01
突発性発しん							1 (0)	0.35
ヘルパンギーナ							0 (0)	0.92
流行性耳下腺炎	1 (0)						1 (0)	0.04
MCLS(川崎病)							0 (0)	0.01
不明発しん症							0 (0)	0.03
インフルエンザ					1 (0)		139 (22)	2.65
新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)						2 (0)	7 (4)	1.08

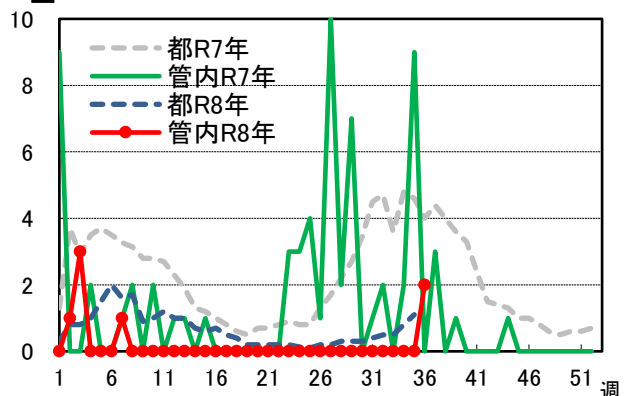
※カッコ内:御蔵島報告数の再掲

【三宅管内】患者報告数推移グラフ(管内とは三宅・御蔵両島の発生数計都は定点あたり発生数)

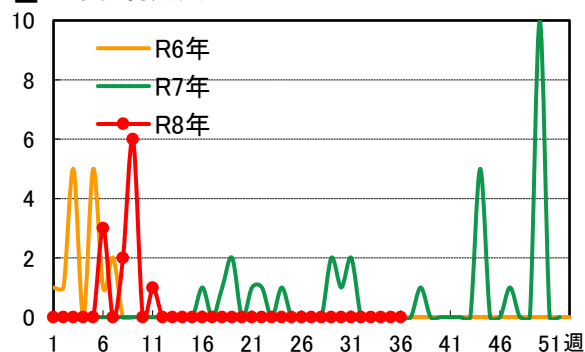
■ インフルエンザ



■ 新型コロナウイルス感染症



■ 感染性胃腸炎



※5類感染症は、感染症発生動向調査を通じ皆さまに情報提供をすることにより、
感染症の発生および、まん延・拡大を防止することが目的です。